

1. 科目名 (単位数)	子どもの健康と安全 (2 単位)	3. 科目番号	SSOT2414
2. 授業担当教員	深田 一枝		SCOT2414
4. 授業形態	講義、演習、グループワーク、プレゼンテーション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>保育環境を踏まえ、こどもの保健に関する個別対応と集団全体の健康及び安全の管理の具体的な方法を学ぶ。衛生管理、事故の予防及び安全対策、危機管理、防災への備えについて理解する。こどもが体調不良になった場合の対処方法、救急処置と救急蘇生法などを身に付ける。また保育における保健的対応の基本的考え方や3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別的な配慮を必要なこどもへの対応を学ぶ。保護者や地域との連携を図る方法、保育における保健活動の計画と評価についても学ぶ。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの健康管理、健康観察の方法について理解し、実施できるようになる。 2. 衛生管理の方法（感染症対策も含む）について理解し、実施できるようになる。 3. 子どもに体調不良が発生した場合の対応について理解し、実施できるようになる。 4. 救急処置および救急蘇生法について理解し、実施できるようになる。 5. 子どもの事故の特徴と事故防止の方法、危機管理について理解し、説明できるようになる。 6. 3歳未満児への対応、慢性疾患やアレルギー性疾患など個別な配慮を要する子どもへの対応を理解し、説明できるようになる。 7. 保護者や地域との連携方法、保健活動の計画と評価について理解し、説明できるようになる。 8. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し、説明できるようになる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	【レポート課題】子どもの命と健康を守る保育者としての役割と責務について、1600字程度で述べなさい。		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】小林美由紀編著『子どもの健康と安全 演習ノート』改訂第2版 診断と治療社、2021。 【参考書】鈴木美枝子編著『保育者のための「子どもの健康と安全」』創成社、2021。 中根淳子・佐藤尚子編著『子どもの保健』ななみ書房、2019。 中根淳子・佐藤尚子編著『子どもの健康と安全』ななみ書房、2019。 東京福祉大学編『レポート・試験はこう書く 保育児童福祉要説』中央法規、2022。 【教材】 テーマごとに資料を随時配付する。</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの保健に関する個別対応について理解し実施できる。 2. 集団保育における健康管理・健康教育の実際を理解し説明できる。 <p>○評定の方法</p> <p>成績評価については、ミニテスト 20%、レポート 30%、日常の授業態度 50%とし総合的に評価を行う。</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>「子どもの健康と安全」は、保育中の乳幼児の命と健康を守るための技術を学ぶ重要な科目です。保育者は乳幼児の普段の状態をよく把握し、普段と少しでも異なる症状があった場合にはそれをいち早く察知し、適切に対処しなくてはなりません。また、乳幼児の養護や看護を行う場合には愛情を持って温かく接する事が大切です。一つ一つの実習を誠心誠意、真剣に行ってください。受講生は以下のことを必ず守ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業は、常に高い緊張感と集中力を保って受講すること。学生には積極的な態度を望む。 2) 理解できないことはそのまましておかないで、積極的に質問すること。 3) 欠席・遅刻・早退をしないこと（やむを得ない場合は必ず文書で申し出ること）。 4) 授業中の私語、携帯電話の作動は絶対にしないこと。守れない場合は退出してもらいます。 5) 実技・演習は、事故のないように気を引き締めて行うこと。 6) 実習機材の準備・後片付けを積極的に行うこと。 <p>講師は以下のことを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 学生が積極的に授業に参加（発言、発表）できるように双方向対話型の学習環境を作る。 2) 明らかに授業態度が悪いと判断された場合は厳格に対処する。（その場合、たとえすべて出席していてもF評価になることもあるので注意すること。） 		
13. オフィスアワー	授業内で周知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	子どもの健康と安全を学ぶにあたって 胎生期の発育とライフサイクル 受精してから出生するまでを中心に学ぶ。	事前学習	シラバスを熟読する。
		事後学習	子どもの健康と安全を学ぶ意義、胎生期の発育を整理する。
第2回	子どもの発育の観察と評価 乳幼児の身体測定と発育の評価について学ぶ。 演習：身体測定	事前学習	子どもの発育状況の把握の仕方を調べる。
		事後学習	身体測定の方法と発育の評価を整理する。
第3回	保育環境と衛生管理 保育環境の整備と衛生管理について学ぶ。 グループワーク：保育環境と衛生管理	事前学習	適切な保育環境について調べる。
		事後学習	適切な保育環境と衛生管理について整理する。
第4回	保育における保健的対応(1) 保育における保健的対応の基本的考え方と3歳未満児への対応として発達に応じた養護について学ぶ。 演習：だっこ、おんぶ 等	事前学習	3歳未満児の運動機能、精神機能の発達について調べる。
		事後学習	保育における保健的対応の基本的考え方とだっこ、おんぶの仕方を整理する。

第5回	保育における保健的対応(2) 3歳未満児への対応として、食事・排泄の援助について学ぶ。 演習：人工乳の作り方、哺乳瓶での哺乳、オムツの取り替え方	事前学習	食事、排泄の自立過程について調べる。
		事後学習	人工乳の作り方、哺乳瓶での哺乳の仕方、オムツの取り替え方を整理する。
第6回	保育における保健的対応(3) 3歳未満児への対応として、保清・更衣について学ぶ。 演習：仕上げみがき(歯磨き)、沐浴、更衣	事前学習	保清及び更衣の自立過程について調べる。
		事後学習	仕上げみがき、沐浴、更衣の仕方を整理する。
第7回	子どもの健康の観察と評価 乳幼児の健康状態の観察と評価について学ぶ。 演習：バイタルサインの測定	事前学習	子どもの健康状態の観察について調べる。
		事後学習	バイタルサインの測定方法と評価の仕方を整理する。
第8回	子どもの体調不良への対応 乳幼児によくみられる症状と対応について学ぶ。 グループワーク：体調不良への対応	事前学習	子どもによくみられる症状について調べる。
		事後学習	子どもによくみられる症状と対応について整理する。
第9回	感染症対策 感染症の集団発生の予防、感染症発生時と罹患後の対応について学ぶ。 演習：手洗い、嘔吐物の処理	事前学習	子どもがよくかかる感染症を調べる。
		事後学習	感染症の集団発生の予防方法と罹患後の対応について整理する。
第10回	個別的な配慮を要する子どもへの対応 健康管理上必要な配慮がある子どもへの対応について学ぶ。 グループワーク：慢性疾患、アレルギー疾患をもつ子どもへの対応	事前学習	子どもの慢性疾患、アレルギー疾患や障害について調べる。
		事後学習	慢性疾患、アレルギー疾患や障害をもつ子どもへの対応について整理する。
第11回	子どもの事故防止と安全対策 乳幼児の事故防止と安全対策について学ぶ。 グループワーク：保育環境における安全対策	事前学習	子どもに多い事故について調べる。
		事後学習	子どもの事故防止と安全対策で重要なことを整理する。
第12回	子どもの安全教育 グループワーク：教材作り、プレゼンテーション	事前学習	授業内で教材作成・発表ができるように準備する。
		事後学習	安全教育の実施における留意点を整理する。
第13回	子どもの応急処置、一次救命処置 乳幼児の応急処置・一次救命処置について学ぶ。 演習：応急処置(止血法、骨折の手当て)、一次救命処置(心肺蘇生法、気管内異物除去)	事前学習	子どもの応急処置、一次救命処置について調べる。
		事後学習	子どもの応急処置、一次救命処置の手順と重要性を整理する。
第14回	健康管理・健康教育 乳幼児への健康教育のための企画書を作成する。 グループワーク：健康教育の企画書作成	事前学習	子どもの健康増進と安全確保に必要な保健活動について調べる。
		事後学習	健康教育の実施における留意点を整理する。
第15回	『子どもの健康と安全』のまとめ、内容の振り返り(ミニテスト)	事前学習	授業内の疑問や質問を考える。
		事後学習	学習内容を振り返り、子どもの命と健康を守る保育者の役割と責務について整理する。